


1 学校教育目標

(1) 名古屋市教育振興基本計画

学びの方針 

実現したい市民の姿

自由な市民として互いに認め合い、共に社会を創造する

目指したい子どもの姿

ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける

重視したい学びの姿

・自分に合ったペースや方法で学ぶ ・多様な人と学び合う ・夢中で探究する

どの学校園でも大人が大切にしたいこと

子どもは有能な学び手であると理解し、子どもの学びに伴走する

・子ども一人一人の思いや願いを尊重する ・子どもと対話する

・子どもの自分なりのチャレンジを大事にする

(2) 本校の教育目標

『『よき学び手』を育む』

よき学び手とは、様々な気付きから学び、自分を成長させ続けることができる人

生徒目標： 教 協 興

教 … 教わり、また教える中で「よき学び手」となる

協 … 心をそろえて、なかまとともに学んだり学校生活を過ごしたりする

興 … 学びながら・・・楽しむ！

2 本年度学校教育の努力点とその推進計画

(1) 本校努力点

self-improvement

自己研鑽：何事にも主体的に取り組み、自己の更なる高みを目指す

自己改善：自分の苦手なことを克服したり、弱い部分を改善・向上したりする

(2) 努力点設定の理由

令和5年9月に公表された「学びのコンパス(学びの方針)」を受け、なかまと学び合う活動を通して、自律して学び続ける生徒の育成と、生徒の学びに伴走し「生徒中心の学び」の推進を図る。令和3年度から昨年度までの努力点「学びに向かう力を高め、人間力を磨く」で積み上げてきたものを生かし、生徒・教職員共々、自身をより向上させることを目指していきたい。

(3) 実践の場

◇ 心身を整える。

☆ SSTの実施

☆ 学校生活アンケートの実施と活用

◇ 授業をよりよくする。

☆ 「生徒中心の学び」の実現

☆ 言語活動の充実

◇ 学習の機会を充実する。

☆ 専門の講師を招いての講演会

- ☆ SST（ソーシャルスキルトレーニング）の実施
 - ・ 本校スクールカウンセラー及びなごや子ども応援委員会と連携してSSTを実施し、自分を大切にしながら、誰に対しても円滑な関係を築けるようにする。

- ☆ 「学校生活アンケート」の実施と活用
 - ・ 学校の生活の基本となる学級内での心身の状況を把握して、よりよい学習環境を整えられるように支援、指導する。

- ☆ 「生徒中心の学び」の実現
 - ・ 各教科・領域の目標・評価について十分に検討し、教育課程編成を進める。
 - ・ 各教科における単元及び分野で達成すべき目標を職員・生徒が共通理解した上で授業を実践する。そして、生徒が自身の目標について振り返り、次の学びにつなげていくことを重点とする。
 - ・ 生徒が目標をもち、授業に集中して取り組むとともに、生徒が互いに教え合ったり、学び合ったりする基盤となる「授業規律の確立」を目指す。
 - ・ 生徒が基礎的な知識や技能の習得と活用に向けて、目標をもって取り組めるような教材の開発やICT機器の活用等、指導法を工夫して、「生徒中心の学び」の実践を目指す。
 - ・ 生徒一人一人の状況に応じて、学習したことを補充したり、発展させたりする場面を設定し、より進んで活動できるように工夫する。
 - ・ 授業において体験的活動を重視し、諸感覚（視覚・聴覚・嗅覚等）に訴える導入を工夫し、生徒の興味・関心を高め、基礎・基本の定着に結び付ける。

- ☆ 言語活動の充実
 - ・ 基礎的・基本的な知識や技能を活用して自らの考えをもち、様々な場面で発表する機会を設定する。発表することで課題が共有され、解決につながっていくことを学ばせるとともに、自分の意見や考えを伝えることで充実感を得られることを実感させられるよう工夫する。
 - ・ 各教科や総合的な学習の時間等で、自分の意見を表す、仲間と教え合うといった活動を通して、互いのよさに気づき認め合い、互いを励まし高め合い、より良い集団作りに貢献できる生徒を育てることができるよう工夫する。

- ☆ 道徳教育の充実(令和4年度より継続して重点)
 - ・ 授業では、教科書だけでなく、「明るい人生」を活用した実践に取り組む。上の「生き方と進路」、「行事」、「生徒会活動」を以下のように関連づける。各教科等の道徳教育にかかわる指導内容について、別葉を活用して関連付け、よりよい授業を展開できるようにして、道徳教育の充実を図る。
 - ① 教員が担任をしている学級だけでなく、学年の各学級で授業を行ったり、講師を招いて道徳教育を行ったりすることで、より専門的で深い学びとなるように学習内容を工夫する。
 - 1年：ソーシャルスキルトレーニング(SST) [相互理解、寛容]
 - 制服着こなせセミナー [礼儀]
 - 障害者理解教育 [相互理解、寛容]
 - 2年：情報リテラシー教室 [節度、節制]
 - いじめ防止講演会 [相互理解、寛容]
 - 思春期セミナー [命の大切さ]
 - 3年：薬物乱用防止教室 [節度、節制]
 - 租税教室 [勤労]
 - 障害者理解講演会 [相互理解、寛容]
 - ② 自己肯定感を高められるように、仲間との関わりの中から自己の役割を見出しながら、活動できるように工夫する。
 - ③ 各講演会や行事のねらい、生徒の活動に応じて、各学習を振り返ったり、想起したりできるように、ICT機器や教材や資料を整備して、学校生活に即した形で、自身と仲間を大切にすることを育成できるように工夫する。

☆ 行事

- ・ 豊かな心を育めるように、次の各行事を年間計画に位置づける。

校外学習(5月)	友達のよさを認め合う。
環境学習(6月)	自分たちにできる環境作りについて考える。
体育大会応援(6月) 大縄跳び	生徒が一丸となって一つのことを成し遂げる充実感を味わう。
音楽会(10月)	仲間と団結し創り上げ、表現する喜びを味わう。
卒業を祝う会(3月)	卒業生に対する感謝と敬意の気持ちを表す。

☆ 生き方と進路

- ・ 3年間を見通して、自分の適性や働くことの意義を考えさせていく中で、自分に合った進路を自ら選択する力を養わせる。また、これらの取り組みの中で、あいさつ等社会の基本的なマナーについて学習する。

1年 職場訪問	市内事業所を訪れ、見学したり、働いている人にインタビューしたりして、職業についての意識を高める。あいさつや時間を守る等、社会で求められるマナーについて学ぶ。
2年 キャリア教育 プロジェクト	キャリア教育推進センターが開発を進めている教育プログラムの実践を通して、本物のヒト・モノ・コトとの出会いを通じて社会や仕事を自分事として捉える。
3年 学校訪問 ----- 修学旅行	県内の公・私立学校、専修・各種学校を訪れ、見学したり説明を聞いたりして上級学校についての理解を広げる。 ----- 将来の生き方を見据えて、都内分散学習の行き先を決定して体験し、生き方について考える視野を広げる。

☆ 生徒会・委員会活動

- ・ 次の活動を通して環境や資源に対する意識を高め、より良い学校を作り、地域に役立つとする気持ちを育てる。

地域清掃ボランティア	地域美化に取り組むことで、地域貢献について考える。
校内美化活動	ボランティア清掃活動により、学校をきれいにする。
校内緑化運動	校内の花壇に草花を育てて、豊かな心の一助とする。
学校生活向上活動	いじめ防止を含め学校生活向上に向けた活動をする。

◎ 開かれた学校づくり

保護者や地域の人に、本校の活動について理解してもらうため、次のような機会を設定する。

☆ 行事の一般開放

- ・ 作品展を開催し、多くの人に生徒の作品や課題まとめなどを見てもらえるようにする。

☆ 小学校6年生への学校説明会

- ・ 「丘中を知ろう」では、学区の2つの小学校6年生を本校に招き、生徒による学校説明会を行い、中学校に対する理解を深められるようにする。

☆ 小学校の保護者を対象とした学校説明会

- ・ 学区内の小学校の保護者に学校説明会及びランチ試食会を開催し、中学校の教育方針や生徒の様子等を知らせ、理解を深められるようにする。

☆ 学校からの情報発信

- ・ HPの随時更新
- ・ 携帯サイトの随時更新

☆ 学校評価

① 自己評価

- ・ 教育活動の企画、運営の状況についての自己評価を行う。
- ・ 保護者によるアンケート調査を行う。

② 関係者評価

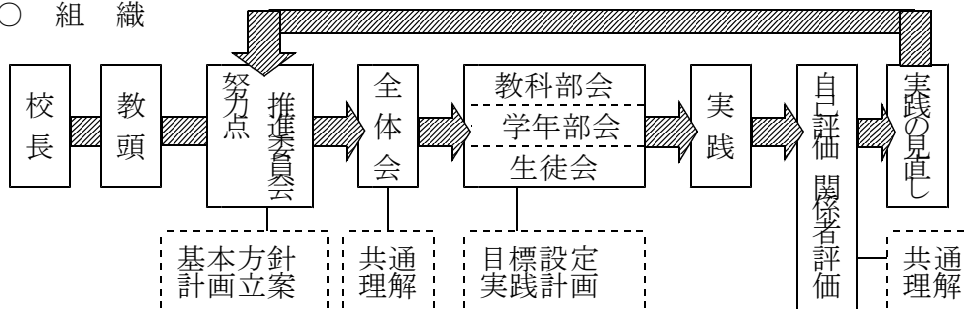
- ・ PTA役員、評議員による自己評価に対する評価を行う。

③ 公表

- ・ 自己評価について、HPを通して公表する。

(4) 努力点推進計画

○ 組織



○ 年間計画

以下の表の年間計画に基づき、努力点の達成を目指し教育活動を推進する。

表 努力点推進についての年間計画

実施月	内容
4月	学年目標・教科目標・年間計画の決定
5月～7月	実践 授業研究
9月	努力点の中間のまとめ
10月～12月	実践
1月～2月	努力点のまとめ・評価 実践の見直し